

# 平成29年度 教育費 当初予算の概要

川越市の平成29年度一般会計当初予算額は1,109億9千万円。そのうち、教育費は125億3,064万7千円で、11.3%を占めています。この予算は、どのように使われるか、その概要をお知らせします。

## 教育費合計 125億3,064万7千円



平成29年度9月から運用開始予定の仮称新学校給食センター

**学校保健費**(32億4,287万4千円)  
学校保健・学校給食に関することに使います。

### 主な事業

- 学校保健活動の充実
- 学校給食センター運営管理
- 学校給食センター施設整備

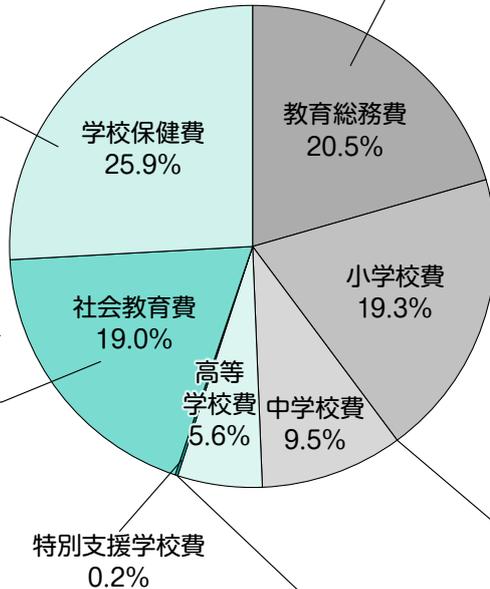
**社会教育費**(23億7,571万8千円)  
社会教育に関する事業、文化財の保存・整備などに使います。

### 主な事業

- 川越・地域子どもサポート推進
- 仮称霞ヶ関西公民館建設
- 学童保育室運営管理
- 学童保育室整備
- 山王塚古墳調査
- 河越館跡整備
- 博物館展示室等の多言語化
- 家康没後400年記念特別展
- 蔵造り資料館耐震化
- 図書館資料の充実



平成28年度に耐震化工事が完了した時の鐘



**高等学校費**(7億562万7千円)

**特別支援学校費**(2,154万円)

市立川越高等学校・市立特別支援学校の運営管理などに使います。

### 主な事業

- 教育情報機器の整備・充実
- 理科教育等備品整備

**教育総務費**(25億7,248万3千円)

教育委員会全般に関すること、教職員の研修、特色ある学校づくりなどに使います。

### 主な事業

- スクールソーシャルワーカーの配置
- オールマイティーチャーターの配置
- ネットパトロール
- スクールボランティア作戦
- 科学わくわくラーニングプログラム
- 英語指導助手の配置
- さわやか相談員の配置
- 特別支援教育支援員の配置



科学わくわくラーニングプログラム

**小学校費**(24億2,229万1千円)

**中学校費**(11億9,011万4千円)

小中学校の運営管理、施設整備などに使います。

### 主な事業

- 小中学校施設整備
- 小中学校普通教室空調設備整備
- 小中学校大規模改造
- 新入学用品費に係る就学援助費の増額及び早期支給の実施
- 小中学校指導事務
- 小中学校情報教育推進
- タブレット端末導入及び校内LAN敷設



平成28年度に大規模改造工事を実施した寺尾中学校

新規事業としては、「新入学用品費に係る就学援助費の増額及び早期支給の実施(小学校・中学校)」、「中学校普通教室空調設備整備」のための導入基礎調査、「博物館展示室等の多言語化」、「家康没後四〇〇年記念特別展」などを実施します。

主要な事業としては、「小学校普通教室空調設備整備」、老朽化した学校施設設備を改修し、教育環境の整備を図るための「小中学校大規模改造工事、トイレ改修工事」、小中学校においてICTを活用した授業の実践を行うための「タブレット端末導入及び校内LAN敷設」、児童保育室の狭あい化、老朽化に対応した施設整備を行い保育環境の改善を図る「学童保育室整備」、「仮称霞ヶ関西公民館の建設」、「蔵造り資料館耐震化」を引き続き推進します。

学校教育では、各学校のさまざまな課題に対応するための「オールマイティーチャーター配置事業」、いじめ問題や生徒指導上の諸課題に対応するために生徒指導推進員を配置する「スクールボランティア作戦」、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するための「英語指導助手配置事業」を引き続き実施します。また、仮称新学校給食センターの施設整備が8月に完了となり、9月から運用を開始します。

**新規事業・主要事業は…**

# 教育長及び教育委員会委員の紹介

川越市教育委員会は、市長が議会の同意を得て任命した教育長と四名の委員で組織されています。平成二十九年四月一日付けで、三名の方が教育委員会委員に任命されました。



教育長

新保 正俊

任期：平成28年4月1日  
～平成31年3月31日



教育長職務代理者

梶川 牧子

任期：平成26年12月28日  
～平成30年12月27日



委員

長谷川 均

任期：平成29年4月1日  
～平成33年3月31日



委員

黒田 弘美

任期：平成29年4月1日  
～平成32年3月31日



委員

長井 良憲

任期：平成29年4月1日  
～平成31年3月31日

平成二十九年三月三十一日付けで、川越市教育行政の発展のためにご尽力いただいた原田委員が退任されました。

## 退任委員



原田 由美

## ～命を育む緊急アピール～

# かけがえのない命を大切に！

川越市教育委員会、川越市校長会、川越市PTA連合会では、平成28年8月に県内で起こった少年の尊い命が失われた事件を重く受け止め、「命を育む緊急アピール」を提唱し、リーフレットを作成し、各家庭に配付しました。また、全市立学校では児童生徒がリーフレットをもとに、命の大切さについて考える機会を設けました。児童生徒、保護者や地域の方々、教職員が相互に連携し、かけがえのない命を大切にしていきたいと思います。

～命を育む緊急アピール～  
**かけがえのない命を大切に！**

平成28年8月、県内で16歳の少年の尊い命が失われてしまいました。この事実を、私たち一人一人が真正面受け止め、二度とこのようなことが起きないよう、それぞれの立場で取り組みましょう。

**命を育む緊急アピール**

わたしたちの命  
それは、幾多の天災や人災を乗り越え、懸命に生きてきた多くの祖先によって託された命のバトン、絶対無二の尊い命です。自分を大切にし、相手を思いやり、変え合って、たくましく生きていきましょう。

川越市教育委員会教育長

平成28年12月  
川越市教育委員会  
川越市校長会  
川越市PTA連合会

**わたしたちの命**  
それは、幾多の天災や人災を乗り越え、懸命に生きてきた多くの祖先によって託された命のバトン、絶対無二の尊い命です。自分を大切にし、相手を思いやり、変え合って、たくましく生きていきましょう。

自分を大切にし、相手を思いやり、支え合って、たくましく生きていきましょう。

川越市教育委員会教育長

児童生徒のみなさん

生きているもの全てに、かけがえのない命が宿っています。その命を、みなさんの手をつみ取ることなく、大事に育てていきましょう。

保護者のみなさん

子どもたちは、日々成長しています。子どもたちの小さな変化を見逃すことなく、寄り添いながら成長を見守っていきましょう。たくさんほめてあげましょう。

教職員のみなさん

子どもたちの思いや願いの実現は、教育者として誰もが一緒に闘うところです。子どもたち一人一人が輝けるようバックアップしていきましょう。

地域のみなさん

子どもたちは地域の宝物です。厳しくも温かい言葉かけで子どもたちを包み、地域みんな育てていきましょう。